

## ホールを活用した市民の文化意識向上・定着にむけた 本市の運営方針と取り組み

八代市厚生会館及び千丁・鏡文化センター 運営方針（平成28年3月策定）抜粋

### 1. 質の高い事業の実施

八代市文化ホールの目的の大きなものが市民への舞台芸術鑑賞機会の提供であることは、事務事業として自主文化事業（以下、「事業」という。）が条例や規則に掲げられていること、また、市民のニーズが高いことから明白である。

この目的を果たすために、事業の実施にあたっては、その演目や出演者といった内容の観点だけでなく、ジャンルや主となる観客層、立地条件や地域性などにも配慮した検討と決定の体制を構築するとともに、単なる鑑賞だけに終始せず、創造性や企画性の高さ、あるいは独自性や特色を打ち出すことに努める必要がある。

また、市民のニーズの動向を把握しながら、事業選定が独善性に陥ることなく、市民に寄り添い、市民とともに事業を実施するという意識を持ち続けなければならない。このことは、施設や設備の面だけでなく心のバリアフリーにも通じるものとして、老若男女を問わず、すべての市民に対する快適なサービス、市民目線での「おもてなし」の観点から重要なものである。

さらに、事業を実施することが目的にならないよう、入場者数や収益などの短期的な指標だけでなく、事業の波及効果や地域への影響、関係文化団体等の水準向上など、長期的な視点を加味した基準による適切な評価を積み重ねていくとともに、そのフィードバックを怠らないことでより充実した事業につなげていくものである。

### 八代市の取り組み（過去5ケ年度）

#### ・市民へ芸術文化鑑賞の機会を提供する「鑑賞普及型事業」

##### R1

世良公則 KNOCK KNOCK with 神本宗幸 feat. 渡辺美里

林家木久扇・林家木久蔵親子会、ドリーミングファミリーコンサート

##### H30

めざまし LIVE COUNTRY TOUR IN YATSUSHIRO 2018

NAOTO&清塚信也デュオコンサート、岡本知高クリスマスコンサート

ケロポンズファミリーコンサート

##### H29

キエフバレエ（共催事業）、小椋佳・歌紬の会

三遊亭小遊三・林家三平落語会、ケロポンズコンサート

##### H28

オペラシアターこんにゃく座公演「ロはロボットのロ」（共催事業）

まちなか音楽祭（共催事業）、まどかぴあ舞台創造プログラム「浮足町アンダーグラウンド」、熊本県立劇場ネットワーク事業「TRINITY」

##### H27

石川綾子ヴァイオリンコンサート、オペラ椿姫（共催事業）

NHK-FMラジオ番組「吹奏楽のひびき」公開収録

宝くじ文化公演「吉田記念オーケストラ～いつでも元気が出るコンサート～」

・**芸術文化に直に接する「舞台芸術体験型事業」**

劇団きららによる演劇ワークショップ（毎年）

・**中学・高校生の学習や発表の場となる「学習型事業」**

高校演劇舞台技術講習会、八代市高校演劇大会、八代市中学音生音楽教室  
（いずれも30回以上開催されている長寿事業である。）

・**ホワイエを利用して気軽に観覧できる「舞台芸術普及型事業」**

ホワイエライブ「en」、旅立ち・そして思い出がいっぱいコンサート（H30）

・**地域住民自身による運営・出演の「住民参加型事業」**

かがみふるさと音楽祭（毎年）

## 2. 普及啓発及び調査研究（方針抜粋）

八代市文化ホールでは、鑑賞の提供だけにとどまらず、教育や体験、普及や住民参加という形態で事業を実施している。これらの事業の成果は、具体的な数値として現れにくいものであるが、舞台芸術に対する理解の向上、地域文化の担い手の育成という観点から継続していく必要性が高いものである。

また、事業開催にあわせて実施するアンケートの項目の見直しや集計・分析などを強化するとともに、県内の他の文化施設と連携した市民や事業鑑賞者の動向把握、あるいは、宣伝強化や集客への対策など、調査研究を展開していく。

### 八代市の取り組み

・生のクラシック音楽に親しんでもらい、演奏を聴くマナーを学習し、舞台芸術に触れてもらうことを目的として、毎年10月中旬に八代市内の中学3年生を対象として、熊本交響楽団を招聘し、中学生音楽教室を開催している。今年で53回目であったが新型コロナと7月豪雨災害で残念ながら中止となった。

・アマチュア劇団の公演に関して、育成の観点から共催事業として扱い、使用料に関して減免を実施（H28）。

・劇団きららによる演劇ワークショップを開催し、演劇を志す若者の育成を毎年実施。

・八代市は、演劇の育成に力を入れていることもあって、熊本県高校演劇のフラッグシップ的な存在となっており、舞台技術講習会には講師を派遣したこともある。

・落語家桂伸三（令和2年5月に真打に昇進し、伸衛門を襲名）によるアウトリーチ事業で二見小学校（60名）、坂本中学校（43名）昭和小学校（67名）において上演した（H28）。

・小学生を対象に、三線（H19）、習字（H23）、竹楽器（H24）、紙切り芸（H26）、マジック（太田郷小学校へのアウトリーチも実施）（H27）等の実際に作品を作って演奏したりする芸術体験事業を実施。